

2023年1月吉日

施設各位

一般社団法人日本脳卒中学会
理事長 小笠原 邦昭
脳卒中医療向上・社会保険委員会
委員長 藤本 茂

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年来、ジェネリック薬品を中心としたアルガトロバンの供給に制限が生じております。アルガトロバンはアテローム血栓性脳梗塞急性期の治療薬として重要な薬剤であり、脳卒中治療ガイドライン2021では、推奨度C、エビデンスレベル中で記載されています。

また、コロナ禍で薬剤の供給不足が生じる事態に備えて、2021年には厚生労働省から日本医学会を通して、供給不安や欠品が生じた際の早めの対応や準備のため代替薬や代替療法について検討するように指示を受けました。そこで、日本脳卒中学会では、脳卒中の日常診療に用いる抗血栓薬を中心に供給不安や欠品が生じた際の代替薬について取り纏めました。そこでは、アルガトロバンの代替薬、代替療法について以下のように報告しております。

アテローム血栓性脳梗塞急性期でのアルガトロバン水和物が確保できない場合は、抗血小板薬2剤併用療法のみでの治療を検討する。オザグレルナトリウムの点滴静注またはヘパリンナトリウムの点滴静注も考慮してよい。

今後の対応として

1. 先発品（ノバスタン®、スロンノン®）の確保を検討
2. アテローム血栓性脳梗塞急性期の代替薬、代替療法として、抗血小板薬2剤併用療法、オザグレルナトリウム、ヘパリンナトリウム、またはこれらの組み合わせ

をご検討いただければと存じます。

今後新たな情報がわかりましたら改めてご報告申し上げます。

謹白